

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	C A D 演習		
英文授業科目名	C A D L a b o r a t o r y		
開講年度	2004年度	開講年次	4年次
開講学期	7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	石川 晴雄		
居室	東4-406		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ishikawa@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題 最近、自動車産業など実際の製造現場では設計のツールとして（単に3次元の立体を描くだけではない）3次元CADシステムの導入が活発化し始めている。今後は製造業の主流になるものと思われる。3次元CADシステムは2次元の製図に基づく設計とは根本的に違っている。そこで授業ではその基礎として、3次元CADシステムの使用方法を学習する。</p> <p>(b) 達成目標 3次元CADシステムによるソリッドモデリングの考え方を理解するとともに、実際のソフトウェアの使用方法を身に付ける。多少複雑な機械部品のモデリングができるようになること。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
機械設計製図関係の科目、機械設計工学

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

1 回目：3次元CADソフト（Unigraphics）の紹介と3次元モデリング機能のデモンストレーション。UGの立ち上げ、停止の方法、および画面の見方。  
2、3 回目：簡単な2次元の例題演習。  
4、5 回目：3次元モデリング機能の説明と簡単な演習。  
6、7 回目：3次元モデリング機能の説明と演習。  
8、9 回目：課題1（比較的本格的なソリッドモデリング）  
10、11 回目：課題2  
12?15 回目：課題3

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

課題提出と出席点で評価する。  
各課題については描くべき対象内容のすべてを描いていることが必要。  
正当な理由でなく3回以上欠席の場合は評価の対象にならない。またひとつでも課題の未提出がある場合は合格にならない。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話、電子メールで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

3次元モデリングの楽しさを知るようにしてください。また毎回出席すれば自然とCADによるモデリング能力が身に着きます。またCADソフトとしては授業内容以外に多くの機能がありますので、自分から積極的に学んでください。

### 【その他】